

木くぼり



No.
155

発行
'17 -4月号

今月の本 チーク

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

日本語表記・英名：チーク クマツツラ科

チークはマホガニー・ウォールナットと並ぶ世界三大銘木のひとつと言われ、世界各地で大変に用途の多い木として親しまれています。大きいもので樹高 40~45m、胸高直径は 1.8~2.4m になりますが、多くは樹高 9~11m、胸高直径は 1~1.5m ほどの大きさの木です。



最大の特徴はチークの中に良質の油、木製タールが含まれており、塗装などをしなくても摩擦などに強く、時間が経っても材質が変わらない事にあります。また、この特性からチークは肌触りが滑

強い耐久性と、
優れた特性を持つ
世界的に高評価のチーク

らかで、酸化、腐食に強く、水にも強いのです。古来からチークは最高級木材として高級家具や豪華客船の甲板や内装材などに使われてきました。塩水などにも非常に強く寸法安定性の非常に良いチークはそのような過酷な条件に最適であるといわれます。チークには、インドネシア産とミャンマー産とがあり、インドネシア産は植林材、ミャンマー産は高樹齢(150~200年)はきっちりと杢目が詰まり色調も濃く、耐久年数は 200 年とも云われ、古い歴史の仏教寺院や建築物に使用されています。日本でも国会議事堂や明治 11 年日本初のリゾートホテルとして誕生した箱根・宮ノ下の富士屋ホテルの内装材にも使用されています。また耐久性と寸法安定性の高さから、船舶のデッキにも使われており、「クイーンエリザベス 2 世号」の甲板や内装材にも採用されました。

蓬萊橋改修工事 完了です！

蓬萊橋の架け替え工事が完了しました。

改修箇所を別の場所で組み立て、クレーンで運び架け替えました。

改修箇所は板の色が少し違い、安定感もあります。是非一度渡ってみてください。



諏訪原城跡復旧工事 もうすぐ完成です！

島田市菊川 諏訪原城跡

「二の曲輪北馬出（にのくるわきたうまだし）城門（薬医門）」の復元工事が着々と進んでいます。

この復元は、文化庁の復元検討委員会が国内の中世城郭で唯一認めた城門です。屋根の工法は「柿葺」（こけらぶき）と言い、1300年以上の歴史を持つ、世界にも類をみない日本独特の屋根工事技術です。柿葺は杉の薄い板を野地板の上に葺き重ね、釘で留めて順次上の方向へ葺きあげていく工法です。先日の市民体験でこの釘打ちが行われました。

板葺は世界各地にも見られますが、その多くは厚板を並べて石を置くなど無骨な形態のままで、日本の柿葺きのように華麗なまでに発達した地域は他では見られません。木目に沿って貼られた柿板で屋根を葺くと、板と板の間に少しの隙間ができます。これが屋根裏の通気を促し、木材の耐久性を高めます。檜皮葺きと同じく、入念に施工された仕上がりは優雅で繊細な上品さが漂います。3月28日、除幕式が行われる予定です。

板葺は世界各地にも見られますが、その多くは厚板を並べて石を置くなど無骨な形態のままで、日本の柿葺きのように華麗なまでに発達した地域は他では見られません。木目に沿って貼られた柿板で屋根を葺くと、板と板の間に少しの隙間ができます。これが屋根裏の通気を促し、木材の耐久性を高めます。檜皮葺きと同じく、入念に施工された仕上がりは優雅で繊細な上品さが漂います。3月28日、除幕式が行われる予定です。

